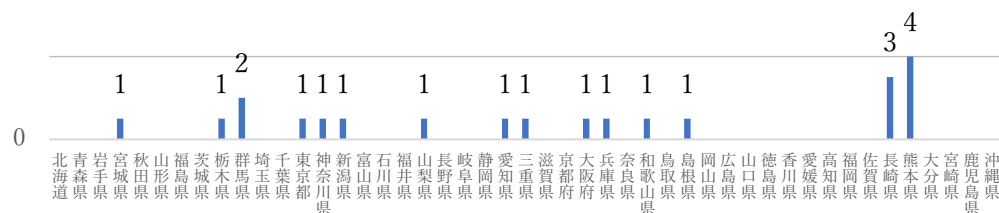


## 2022.2.4 座談会1 アンケート結果

### 【1】 あなたのことについてお尋ねします

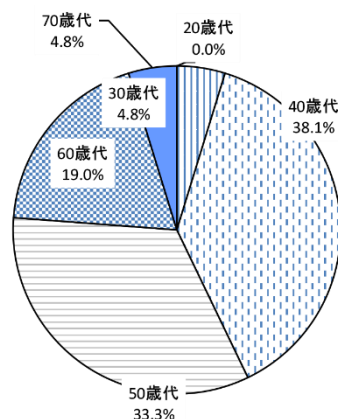
#### ① お住まいの都道府県を教えてください (21 件の回答)

20



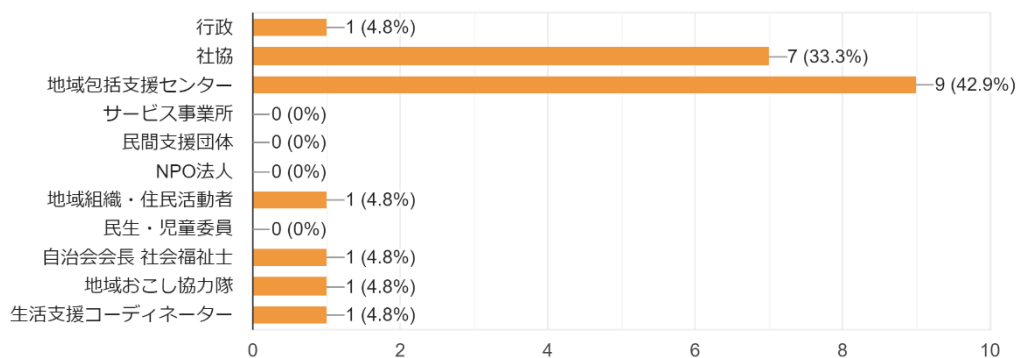
#### ② 年代を教えてください (21 件の回答)

10歳代	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	1	4.8%
40歳代	8	38.1%
50歳代	7	33.3%
60歳代	4	19.0%
70歳代	1	4.8%
合計	21	100.0%



#### ③ 所属を教えてください

21 件の回答



各専門分野の事例、深堀だけではなくて、このコロナ禍においても住民にアクセス、アクションを続けた繋がりづくりの効果が認められることから、他期間・団体が地域や住民にむけて連携を視野に入れた座談会として締めくくられたことが良かったと思います。この先、協議体づくりと進んだり、住民が当事者である地域づくり、人を思いやる大切にする人権尊重の精神をを自助、共助のレベルで紡いでいくことになると思います。本日も大変勉強になりました。有難うございました。

題名のとおりざっくばらんで親しみを持って拝聴することができて良かった。始まってほとんど声が聞こえない時間がありました。灯りがあるのは安心できる。子どもが頼ってくる気持ちがよくわかる。辛くなったら「助けて」と言っているんだということもみんなの心の中に置いていて欲しい。コロナ禍で、感染したことを隠そうとするから、噂や詮索されるのであって、情報として流してしまえばいいことなのだ。

いろんな地域の取り組みについて、知ることができた。

課題の具体例が提示され、また、それらに対する対応、そして、そこから見えて来た新たな課題やこれからの方向性などを知ることが出来た有意義な内容でした。

座談会なので、グループワークでそれぞれの交流、悩みなど聞けるのかと思いました。次は、そのような感じで、重層的支援体制をやっていく中で、他の自治体の取り組みなどを聞けたらいいなと思いました。どこも手探りだと思いますので。

包括的支援体制構築…となると、難しいハイレベルな講義かと心配していましたが、ごく身近にある話をいかに着目できるかということに気づけて、とても視野が広がったと思います。座談会を聞いてみたいと思ったのは、地域の方々からよく「居場所ばかり作っても参加できない人に思いが届かないからどうしようもない」というようなこと言われ、その答えを求めていましたが、できることは少しずつでも意味を持ってやることであるのかなと思えました。排除しない、押し付けない、でもつながるきっかけの選択肢を増やしておくこと、それには共感的アプローチを提案できないなと感じました。今の私は、生活支援コーディネーターなんだから、住民さんとだけ進めてれば作っていけばというような情報ももらえないことが、私自身が排除されていることが多いと感じてしまっており、住民さんが様々な人を迎え入れたいと思っているのに、関係者に止められてしまうような気がしておりました。しかし、包括支援センターにかかってくる1本の電話の中にも、信頼関係を築けずに施設を追い出されるという話は本日私だって受けたな、ということを見ると、気づいていないことが多いのだなと反省が多々ありました。コロナ後のフォローから生まれる絆の話も、本当に身近に感じている所です。一人で業務を行うだけだと、何もできていな

い気持ちになる日々の中、今までの様々なことが意味づけられることだという思いに変えていただけた、貴重な座談会でした。ありがとうございました。

どのような人に対しても、自己決定の尊重が大切と基本的なことを改めて気づかされました。生活困窮者だけでなく障害を持たれている方も同様ということ思い出しました。支援者のエゴではなく本人の立場に立って支援をしていきたいと思えます。ありがとうございました。

櫛部さんのお話で身につまされるところがたくさんありました。

陽性⇒妖精への発送がバイステックの7原則の究極の受容にも捉えられました。子供の発送はいろんな意味ですごいですね。

コロナ禍でも前向きに活動している団体の声を聴き、自分達の活動にも自信が持てました。このような機会を頂きありがとうございました。

コロナだからという理由で何もできなくなったわけではなく、だからこそその繋がり大切に感じられました。

事例がとても分かりやすかったです。あっという間でした。

いいお話しが聞くことができよかったです。ゆるやかに支援すること、事実を必要なひとに伝えること、正しくコロナを恐れること等学びができました。ありがとうございました。

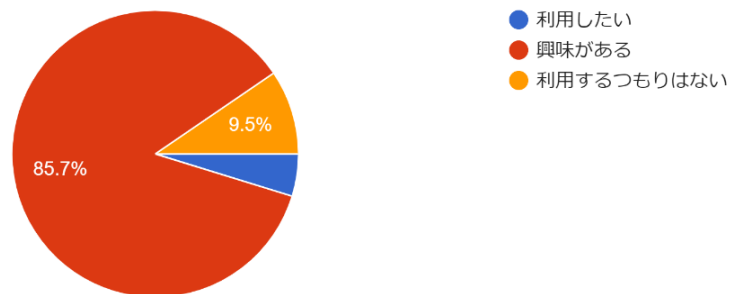
コロナ禍での支援についてなど、とても参考になりました。

社会的弱者の方を支援する前線で働かれている方の生の話を聞くことができ、非常に有意義だった。支援の基本に立ち戻る機会を頂けたと思う。重層的支援体制整備事業については国や県主催の研修会でばかり話を聞いていたが、事業稼働の背景にある風景をちょっとだけのぞかせていただけた印象を受けた。狭い視点に捉われず、俯瞰してかつ多角的に状況を見定める力が今後とても大切になると感じる。このような座談会は現場から事業や制度を眺める良い機会だと思う。

社協は中間支援機関という言葉が響きました。素晴らしい座談会でした。ありがとうございました。

ざっくばらんに討論されていて、地域の現状もわかり勉強になった。

③包括的支援体制構築に取り組む支援団体・自治体...業を受付しています。利用したいと思いますか。  
21件の回答



④その他のご意見やお気づきの点などがございましたらお聞かせください（自由記述）  
5件の回答

今後とも機会があれば参加したい。

参加支援をやっている方と、グループワークなどができればと思います。

今後このような気軽な会を開催していただきたいと思います。

凧さんのコーディネーター、素晴らしい！

簡単なもので良いので、事前に事例に関する資料などが頂ければ、ありがたかったです。